第十講　終助詞／副助詞／「し」の識別／呼応の副詞

終助詞

【　　】**ばや・てしがな・にしがな／なむ／**もが・**もがな**・がな
【　　】**かし**
【　　】**そ・な**
【　　】**かも・かな**・か・も・な・**や**

★願望

〈　　　願望〉＝〜たい

「　　」形＋**ばや**

「　　」形＋{てしがな／にしがな}

〈　　　願望（＝**あつらえ**）〉＝〜てほしい

「　　」形＋**なむ**

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〈**状態願望**〉＝〜があればなあ・〜がいればなあ・〜であればなあ

種々の語＋{ もが／**もがな**／がな }

★**念押し**＝「　　・　　」

※「ぞ**かし**」（＝〜だよ・〜だね）の形

★**禁止**＝〜するな

※「　　」〜**そ**（＝〜してくれるな）

※「　　」〜**な**（＝決して〜するな）

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　「『初音の勝負をし侍らばや』と申し出だしたれば、…」の傍線部の解釈として最も適切なものを、次の中から選べ。

ア　この御所では初めてだが、「郭公」という曲で楽の音を競う勝負をしてはどうだろう。
イ　どちらが先に、今年初めての郭公の鳴き声を聞くか、勝負をしたいものでございます。
ウ　院御所では今春初めて、「郭公」を題とする朗詠の勝負をするとお聞きしましたが。
エ　北山殿にて、この夏初めての郭公の鳴きまね勝負をするべきではないでしょうか。
オ　誰が初めに郭公を鳴かせることができるか、勝負をするよう、お命じになってはいかがですか。

問二　「迷はざらなむ」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

1　迷わないだろう
2　迷うはずはない
3　迷うことであろう
4　迷うことがあろうか
5　迷わないでもらいたい

問三　「もの知らぬこと［x］のたまひ［y］」が禁止を意味するように、［x］と［y］に適切なひらがなを一字ずつ書け。

x＝　　　y＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

副助詞（だに・すら・さへ・し・のみ・ばかり・など・まで）

★「だに・すら・さへ」の用法

副助詞	用法
※だに	類推（〜　　　）
すら	類推（〜　　　）
さへ	添加（〜　　　）

※「だに」には**限定用法**（＝〜　　　　）もある。

〈「だに」の意味の見分け方〉＝「　　　　」を見る。

限定用法 ⇒ **だに**＋〜「　　　」・「　　　」・「　　　」・「　　　」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「類推」の構文

［A］**だに**（サエ）／**すら**　「（　　）」　［B］

［C］はなおさら　［　　］

〈例題一〉 次の文章は、『浜松中納言物語』の一節である。主人公中納言は唐の国にわたり、そこで厚遇を受ける。これを読んで後の問に答えなさい。

〈中略〉「<u>わが世にてだに、さやうの事思ひ寄らざりしを</u>、まいて知らぬ世界に、さるふるまひをし出でたらんに、…

問　傍線部の解釈として、最も適当なものを左の中から選べ。

A　日本にいたときでさえ、どこかに婿入りするようなことは考えもしなかったのに
B　わたしが皇位に就いたとしても、大臣のむすめと結婚するとは思いもつかないのに
C　自分が統治する日本でさえ、母国に帰るのを許さないなんて想像もできなかったのに
D　わたしたち夫婦の間でも、子どもを生んで自分の血筋を残すことなど考えなかったのに
E　自分が結婚していたときでさえ、子どもをおいていなくなることなど思いも寄らないのに

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　「跡をだに形見に見むと思ひしを…」の傍線部の説明として、最も適当なものを次の中から選べ。

A　屋敷の様子だけでも見て、資盛をしのぶよすがとしようということ。
B　屋敷の様子を見て、ある聖の手に渡ってしまったことを実感したこと。
C　屋敷の様子を見て、資盛と別れたときのことを思い出したということ。
D　屋敷を訪れて、資盛がまだ生きているような気がしていること。
E　屋敷を訪れて、ある聖の手に渡ったときのことを思い出したこと。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★「し」の用法＝「　　　」

①「**し**　　」・「**し**　　」
②「Ａ**し**Ｂば」
③「Ｖと**し**Ｖ」　※同じＶ

「し」の識別

【識別対象】
1　サ変動詞「　　」の「　　　」形
2　過去の助動詞「　　」の「　　　」形
3　「　　　」の副助詞「し」

〈見分け方〉
1　「　　　」と訳せる＝サ変動詞
2　「　　　」形＋**し**＝過去の助動詞「き」
3　「し」を省いても文意が通じる。＝副助詞　※副助詞「し」の用法①～③参照。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　「日ごろより聞きおよびしゆゑに、…」の傍線部と文法的に同じものはどれか。次の中から一つ選べ。

イ　そのむくいをほどこしたまふなり。
ロ　外の事を聞き入れずして、…
ハ　成人してのちに、はたして令尹といふ官人になれり。
ニ　駿馬をうしなはれし時、…
ホ　照名とてあきらかなる名があらはれて、天下にかくれなし。

問六　「歌など学問しけるとぞ聞こえし。」の傍線部ア・イ「し」の文法的な違いについて説明しなさい。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

呼応（陳述）の副詞

★禁止

「　　」〜そ＝〜するな（〜してくれるな）

ゆめ（ゆめ）
かまへて
あなかしこ
〜
そ
な
べからず
＝決して〜するな

★不可能

「　　」〜打消＝〜できない

★その他の打消系統

「　　」知らず＝さあ、どうだかわからない

「　　」〜「　　」＝まさか〜ないだろう

★全否定

「　　」
「　　」
「　　」
「　　」
おほかた
たえて
つやつや
かけて
あへて
〜打消＝
全く〜ない
全然〜ない
決して〜ない

★弱い否定

いと
いたく
〜打消＝**たいして**〜ない

「　　」〜打消＝
めったに〜ない
ほとんど〜ない

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

★その他

〇　**いかで（か）**〜
- 推量＝**【疑問】**「どうして〜だろう」／**【反語】**「どうして〜だろうか、いや、〜でない」
- **願望・意志**＝「　　　〜したい・しよう」

〇　**いつしか**〜**願望**＝「　　　〜　　したい・してほしい」

〇　かまへて〜
- 禁止＝「　　　〜するな」
- 命令・意志＝「　　　〜せよ・しよう」

〇　はやく〜けり＝「なんと実は〜だったよ」

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問七　「花ならばしばし［C］散りそ木の下を」の空欄Cには、ひらがな一字が入る。最も適切な語を記せ。

問八　「さらにえ見いでず」を現代語に訳すとどうなるか。次の①〜⑤のうちから最適なものを一つ選べ。

①　まったく見つからない
②　いまさら見つけることができようか
③　どうしても見つけなければならない
④　いっそう見つけようと努力した
⑤　ことさら見るのも嫌である

問九　「うち嘆きて、［A］なほ消え失せぬるわざもがな、と嘆く。」の空欄Aに入る最も適当な語を、次の中から選べ。

イ　あへて　　ロ　いかで　　ハ　いとど　　ニ　さらに　　ホ　なかなか　　ヘ　また

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第十講　終助詞／副助詞／「し」の識別／呼応の副詞

①　「人はよきほどのしまひあらばや。」の傍線部の用法としてふさわしいものを、次の中から一つ選べ。

ア　疑問を表す　イ　意志を表す　ウ　推量を表す　エ　願望を表す　オ　勧誘を表す

②　「ひとことなおとし［A］」の空欄Aには、禁止の意味を表す終助詞が入る。最も適切なものを次の中から選べ。

ア　ばや　イ　そ　ウ　なむ　エ　かし　オ　ぞ

③　「見てけりとだに知られんとおもひて書きつく。」の傍線部の解釈として最も適切なものを一つ選べ。

1　私が見たのかどうかと不安を感じさせよう
2　私が見たことを知らせて後悔させよう
3　私がたしかに見たことだけは悟らせよう
4　私が見たかもしれないと思わせておこう

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④

「思ひよそへつべからむ人をだに見出でてしがな」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　ぜひその人への思いに引き比べられそうな人なりと見つけ出したい
イ　無理にでもその人に似ているはずの人に探し出してもらいたい
ウ　何とかほかから愛情を移せそうな人を探し出したいものだ
エ　せめてその人になぞらえられるような人でも見つけ出したい

⑤

「生き給ひたりし時、…」の傍線部の文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　接続助詞の一部　　イ　副助詞　　ウ　過去の助動詞「き」の連体形
エ　形容詞の活用語尾の一部　　オ　サ行変格活用動詞の連用形　　カ　サ行四段活用動詞の連用形活用語尾

⑥

打消の語と呼応して不可能の意味を表す副詞として最適なものを次の中から選べ。

1　さらに　　2　よも　　3　な　　4　え

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑦　「さらにそのほかのものも食はずありければ、…」の傍線部の意味として最も適当なものを次の中から選べ。

ア　ますます　　イ　まったく　　ウ　たいてい　　エ　ふつうは　　オ　ほとんど

⑧　「いつしか梅咲かなむ」の「いつしか」の意味として適切なものを次の中から選べ。

1　いつの間にか　　2　はやく　　3　もはや　　4　いったいいつか

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第十講　模範解答

〔例題一〕Ａ（かＣまではここまでで絞れる。）

問一　イ

問二　５

〔補足〕**終助詞「なむ」**は、当然「助詞」で助動詞ではないが、打消の助動詞「ず」に接続する場合は、**補助活用の未然形「ざら」に接続**する。「ざら」は補助活用なので、助動詞がくっついていると考え、下の「なむ」＝完了（強意）の助動詞「ぬ」＋推量系の助動詞「む」だと考えた人がいたかもしれないが、その場合は**上が絶対に連用形**であるので（完了の接続は連用形）、「ざりなむ」となっていないとおかしい。

打消「ず」の活用表に未然形「ず」はない、と考えられていたこともあることや、「ずなむ」にすると、打消「ず」＋係助詞「なむ」との区別も紛らわしい、など理由を書きだすといろいろありますが、「ざらなむ」の「ざら」＝「未然形」だから、「なむ」＝「他者願望の終助詞」と、ここはもう「補助活用の用法」には目をつぶって**「未然形接続」にだけ注目して判断**したほうが早いです。ちょっと邪道ですが、入試ではこちらをオススメします。

問三　ｘ　な　　ｙ　そ　　**問四**　Ａ　　**問五**　ニ

問六　アはサ行変格活用動詞「す」の連用形で、イは過去の助動詞「き」の連体形。

〔補足〕イの上の動詞「聞こゆ」は下二段活用なので、「聞こえ」だと未然形もありえるが、下二段動詞の未然形に接続する「し」は存在しないため、**連用形**の「聞こえ」だと判断できる。

問七　な　　**問八**　①　　**問九**　ロ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題解答　第十講　終助詞／副助詞／「し」の識別／呼応の副詞

〔解説〕

① **未然形**＋「ばや」＝自己**願望**の終助詞。よって、正解はエ。

② 「**禁止**」を表す終助詞で、動詞「おとす」の上に副詞「**な**」があることから、「**な～そ**」の構文。よって、正解はイ。

③ 副助詞「だに」があるので、**下を確認**すると「**ん**」＝「**む**」の助動詞があり、「**と**」**の上の**「**む**」なので「**意志**」の可能性が高い。したがって、この「だに」は「**限定用法**」。よって、「～だけは」となっている3が正解。ちなみに、「だに」のもう一つの用法「類推＝さえ」で訳している選択肢はないので、消去法で考えても「だに」の訳がきちんと訳出されているものは3しかない。

④ 同じく副助詞「だに」の問題。下に自己**願望**の終助詞「**てしがな**」があるので、**限定用法**の「だに」。よって、「せめて～でも」と訳出されているエが正解。

⑤ 「し」の**上が連用形**。さらに**下が体言**。したがって、この「し」は**過去**の助動詞の「き」の**連体形**。よって、正解はウ。

⑥ **打消と呼応**して「**不可能**」の意味を表すものは「**え～**打消」。よって、正解は4。

⑦ 傍線部「**さらに**」が、「食はず」の「**ず**」＝打消と呼応して、「**全く～ない**」の全否定。よって、正解はイ。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

⑧「咲く」の**未然形**「咲か」に付いている「**なむ**」は他者**願望**の終助詞。したがって、この「いつしか」は願望と呼応して「**はやく**」という意味になる。よって、正解は2。

〔解答〕
①エ　②イ　③3　④エ　⑤ウ　⑥4　⑦イ　⑧2

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。